

2022年度 日本学生トライアスロン連合 拡大理事会兼 学生委員総会

議事録作成者：清水瑛大

1. 開会宣言

林博志副理事長)2022年度 日本学生トライアスロン連合拡大理事会及び学生委員総会を開催いたします。

2. 会長挨拶

宇佐美会長)よろしくお願ひいたします。

3. 出席確認

委任状を受領した役員

福嶋稔理事長

良田智雄副理事長

大塚眞一郎理事

吉田隆雄理事

磯富昭理事

田中理恵理事

大石圭介理事

佐藤義久理事

平岡隆明理事

関正監事

学生

委任状を受領した学生役員

2022年度 広報委員長 秋田佳輝

2022年度 副学生委員長 菊地良輔

関東学生連合 秋田佳輝

委任状なしの欠席者

北海道学生連合代表 橋本直樹

九州沖縄学生連合代表 西山凜希

林副理事長)学生役員の半数以上の出席を認めたため、本総会は成立するとみなします。

4. 議長・議事録作成者・議事録署名人の選出

議長 鈴木和宏 学生連合事務局長

議事録作成者 清水瑛大

議事録署名人 林博志学生連合副理事長・柴田葵

5. 学生ランキング制度について
日本トライアスロン連合マーケティング事業局 小池賢ディレクター

ランキングについての説明

小池氏)昨年から全てのエイジグループの大会に出た選手に対してポイントを振ってランキングをつけていく方式に変更した。全てのトライアスリートに少しでも楽しみを提供するために今年からは大学生ランキングも実施する。

1)ランキング概要

大学生ランキング対象大会において出場した選手が順位及び完走タイムに応じてポイントを獲得する。エイジグループの制度を利用する。

2)対象大会

下表の通り

2) 対象大会

第1戦	SD	5月21日	日本学生スプリングトライアスロン選手権渡良瀬大会
	SD	5月21日	全日本大学トライアスロン選抜大会
第2戦	SD	6月4日	東海・北陸・九州学生トライアスロン選手権 (男子のみ)
	SD	6月4日	近畿・中四国学生トライアスロン選手権 (男子のみ)
	SD	6月4日	西日本学生トライアスロン選手権 (女子のみ)
第3戦	SD	6月25日	東北・北海道学生トライアスロン選手権 (男子のみ)
	SD	6月25日	関東学生トライアスロン選手権 (男子のみ)
	SD	6月25日	東日本学生トライアスロン選手権 (女子のみ)
第4戦	SD	9月3日	日本学生トライアスロン選手権
第5戦	SP	10月22日	日本学生スプリントトライアスロン選手権
第6戦	SP	10月22日	日本学生スプリントトライアスロン選手権 (オープンの部)

*第4・5戦：ドラフティング可 (他、ドラフティング禁止)

3)ポイント付与について

下表にしたがって説明が行われた

3) ポイント付与

- 対象大会において完走した全選手へポイントを付与する。
- 順位または完走タイムに応じてポイントを付与し、合計ポイント数からランキングを決定する。
- 最大ポイントは対象大会毎に下記の通りとし、1位の選手に付与する。
*第5・6戦日本学生スプリントトライアスロン選手権においては、開催方式が統一された場合は、同ポイント (750P) とする。

例) 第5戦がドラフティング許可からノンドラフティングレースへと変更など

第1・2・3戦	第4戦	第5戦	第6戦
750P	1,000P	750P	500P

下の表は最大ポイント

- 2位以降は1位の選手とのタイム差から差分ポイントを計算する。
スプリント距離：30P/min (0.50P/sec) として換算

例：

1位	2位	3位	10位	30位	40位	50位
1:00:00	1:01:00	1:05:00	1:10:00	1:30:00	1:40:00	2:00:00
1,000P	970P	850P	700P	100P	1P	1P

スタンダード距離：15P/min (0.25P/sec) として換算

例：

1位	2位	3位	10位	30位	40位	50位
2:00:00	2:01:00	2:06:00	2:20:00	3:00:00	3:10:00	3:20:00
1,000P	985P	910P	700P	100P	1P	1P

- 最小ポイントは『1P』とする。どれだけタイム差が開いても完走選手には『1P』を付与する。
- 対象大会は別途指定
- ポイント加算大会数は、基本『3大会』とする。
* 第2・3戦は、一選手につき1大会のみ加算有効とする。

具体例

2戦、3戦については西日本、東日本両方に出た場合、いずれかのポイントのみ付与する。ポイントランキング上位者に対しても大会出場権の提供などは計画していないが、トライアスロンの楽しみを増やすための指標の一つとしてランキングを導入する。

【質疑応答】

栗原学生委員長

Q1.西日本に出場できなかった人が東日本に出る場合、ポイント付与は東日本として与えるのか？

栗原学生委員長

Q2.西日本大会は女子の出場人数が少なく、タイムスケジュールの関係からオープンと選抜のレースを合わせて行なっている。その場合のポイントの扱いはどうなるのか？

小池氏

A.現時点ではリザルトに基づいてポイントを付与することを考えているが、現在検討段階のため、改めて協議を行う。現時点の認識では、代替予選で出場している選手も、東西どちらかのレースに出場し、順位が出ている場合はポイントが付与される。

中村理事

スプリング選手権と全日本の間にポイントの傾斜がなければ、あえてポイントを取りやすいスプリングに選手が集まってしまう可能性がある。第5戦、第6戦はオープン後にエリート選手は出られないため、第5戦でまとめるべきでは？地域予選についても、混乱を防止するため、第2戦・第3戦は地域ブロックごとの複数のレースに出場できないことを明記すべきではないか。第2戦と第3戦をまとめて記載し、「いずれか一つのレースに出場できる」と明記すべきではないか。

小池氏

A.基本的に5戦目はドラフティング、6戦はノンドラフティング。女子は5戦がなく、6戦だけで集計するのが適している。提案を踏まえ、対応していく。

【事務局紹介】

事務局が去年移転したため、新しい事務局内を紹介

6. 2022年度報告事項

第一号議案 2022年度 決算報告

芦屋事務局員)収入の部、支出の部について下表に基づいて報告。2/28に関監事から監査報告を受けている。

収支計算書

日本学生トライアスロン連合(JUTU)

自 2022年4月 1日
至 2023年1月31日

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 収入の部				
事業収入				
国内大会開催収入				
東日本インカレ	11,200,000	10,100,000	△ 1,100,000	
西日本インカレ	5,000,000	4,425,000	△ 575,000	
観音寺大会	16,000,000	11,601,000	△ 4,399,000	
スプリント大会	8,000,000	6,945,000	△ 1,055,000	
国際大会開催・派遣収入	3,000,000	1,245,000	△ 1,755,000	
その他の事業収入	0	0	0	
会費収入				
登録料	3,000,000	2,241,000	△ 759,000	747名
寄付金収入				
寄付金・権利金収入	23,000,000	36,863,000	13,863,000	
雑収入				
受取利息	0	0	0	
未払い金	0	0	0	
その他収入	0	0	0	
当期収入合計(A)	69,200,000	73,420,000	4,220,000	
前期繰越収支差額	7,494,156	7,494,156		
収入合計(B)	76,694,156	80,914,156		

収支計算書

日本学生トライアスロン連合(JUTU)

自 2022年4月 1日
至 2023年1月31日

科目	予算額	決算額	差異	備考
II 支出の部				
事業費				
国内大会開催費				
東日本インカレ	15,000,000	14,133,418	△ 866,582	
西日本インカレ	13,000,000	13,616,396	616,396	
観音寺大会	24,000,000	20,863,784	△ 3,036,216	
スプリント大会	8,000,000	12,031,631	4,031,631	
国際大会開催・派遣費	3,000,000	3,057,490	57,490	
選手強化補助費	500,000	500,000	0	
刊行物出版事業費	0	0	0	
その他事業費	0	0	0	
その他の経費				
旅費交通費	5,500,000	3,012,680	△ 2,487,320	
事務費	200,000	26,034	△ 173,966	
印刷製本費	200,000	19,574	△ 180,426	
地代家賃	1,200,000	6,000,000	4,800,000	
保険料	500,000	50,416	△ 449,584	
渉外費	0	0	0	
備品	0	0	0	
運賃	0	0	0	
報償費	540,000	550,000	10,000	
会議費	150,000	0	△ 150,000	
リース料	0	0	0	
支払手数料	10,000	0	△ 10,000	
予備費	1,500,000	0	△ 1,500,000	
雑費	60,623	0	△ 60,623	
当期支出合計(C)	73,360,623	73,961,423	600,800	
当期収支差額(A)-(C)		△ 541,423		
次期繰越収支差額(B)-(C)		6,952,733		

【質疑応答】

九州沖縄代表 齋藤光志)

Q.受け取り利息が0円だが、普通預金であれば発生するのではないか？

芦屋事務局員)

A.学連では、補助金を頂いたらすぐに下ろして大会運営に利用している。口座に預金が残ることはほとんどない為、利息はない

九州沖縄代表齋藤光志)

Q.事務局移転において、大幅な金額の増額が確認できますが、その理由は为什么呢？

芦屋事務局員)

以前は学連の予算が潤沢ではなかったため、大会運営に費用を回すために地代の予算を抑えていました。今年度から多くのスポンサー様にご協力をいただくことになり、学生連合の予算が増加しました。そのため、引越しに伴い家賃は増加しましたが、大会運営費用とのバランスなども考慮して家賃の予算を増額できました。

九州沖縄代表齋藤光志)

Q.決算期間は1年だと思うが4月1日から1月31日までなのはなぜですか？

芦屋事務局員)

A.決算書を出すために1月末にしており、2月3月は学連の実務がないため、ほとんど出費なしと考えていた。

九州沖縄代表齋藤光志)

Q.会議費が0円だが、zoomの契約料なども発生しているのではないか？

芦屋事務局員)

A.基本的に事務局がなかったが、事務局がきちんとできたためzoomの契約料は、スポンサー様にお支払いいただいているため、学連の収支に計上することはない。決算報告は以上とさせていただきます。

柴田)質疑応答を以上とし、第一号議案を承認する。

第二号議案 2022年度 事業報告

大会運営委員長：沢部領花)

【活動報告】

- 2022年5月22日(日)「2022日本学生スプリングトライアスロン選手権渡良瀬大会」(群馬県渡良瀬遊水地)
- 2022年6月26日(日)「2022東日本学生トライアスロン選手権 兼 関東・東北・北海道 学生トライアスロン選手権 那須塩原大会」(栃木県那須塩原市)
- 2022年7月10日(日)「2022西日本学生トライアスロン選手権 兼 東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄学生トライアスロン選手権 長良川大会」(岐阜県海津市)
- 2022年9月11日(日)「2022日本学生トライアスロン選手権 観音寺大会」(香川県観音寺市)
- 2022年10月16日(日)「2022日本学生スプリントトライアスロン選手権 兼 トライアスロン・チームタイムトライアル選手権 渡良瀬大会」(群馬県渡良瀬遊水地)

【概要】

昨年度は、約2年ぶりにすべての大会を開催することができました。新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながらの開催や、天候不順によるレース形式の変更など、通常の大会形式とは異なることも多い中で無事に大会を終えることができたのは、皆様のご協力があったのと厚く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

日程については省略

昨年度の反省

・開催地の利用について 大会開催地におけるルール順守の周知・徹底が毎年の課題となっており、昨年度も残念ながら、ルールを守れない学生に対するペナルティの検討などを行わざるを得ない状況がいくつかありました。私たちは、地域住民の方々のご協力のもと大会を開催できているということを選手・運営側双方の共通認識とするべきであり、今後より一層の注意喚起を行っていくことが大切だと思っております。

・レース情報に関するアナウンスについて

昨年度は、猛暑による距離変更、豪雨によるレース形式変更などイレギュラー対応が多かったうえ、選手に対する諸注意の周知が遅かったことなどから、予選大会を中心に様々なご意見をいただきました。今後はレースに関する諸注意をHPやTwitter、大学代表者へのメール送信などあらゆる連絡手段を活用し、迅速な周知を徹底することが必要だと思っております。

以

審判委員長：渡邊純一郎

【活動報告】

- 2022年5月22日(日)「2022日本学生スプリングトライアスロン選手権渡良瀬大会」(群馬県渡良瀬遊水地)
- 2022年6月26日(日)「2022東日本学生トライアスロン選手権 兼 関東・東北・北海道 学生トライアスロン選手権 那須塩原大会」(栃木県那須塩原市)

- 2022年7月10日(日)「2022西日本学生トライアスロン選手権 兼 東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄学生トライアスロン選手権 長良川大会」(岐阜県海津市)
- 2022年9月11日(日)「2022日本学生トライアスロン選手権 観音寺大会」(香川県観音寺市)
- 2022年10月16日(日)「2022日本学生スプリントトライアスロン選手権 兼 トライアスロン・チームタイムトライアル選手権 渡良瀬大会」(群馬県渡良瀬遊水地)

【概要】

2022年度は6大会において審判業務を行なった。東日本インカレ、西日本インカレともに悪天候のため、距離を短縮してレースを行った。2019年以來となる観音寺大会は、東日本大会と西日本大会の反省を踏まえ、ローカル・ルールの策定や学生TOの連絡手段の確保などを厳密に行い、レースを無事に終了させることができた。今年度から全ての大会でペナルティ情報の共有をLINEグループ内で行なった。スプリント選手権の際に、ペナルティの表示が遅れ一部の選手がペナルティ未消化でレースを終えてしまったが、それ以外の大会では確実にペナルティを処理することができた。

2. 次年度に向けて

次年度は以下の3点を確実に実行したい。1点目は学生TOの人数確保である。2・3月に各都道府県主催で実施される審判講習会を積極的に受講するよう、各大学・選手に呼びかけている。2点目は、2023年からワールド・トライアスロンの競技規則の変更点を周知徹底することである。DHバーの使用禁止など、これまでとは大きく異なるルールが導入されるため選手への周知徹底を図る。3点目はローカル・ルールを厳密に策定することである。今年度の反省点を改善し、来年度はより厳密にローカル・ルールを策定する。

総務委員長:庄原八雲

【概要】

選手登録の誤りやイレギュラーの発生は2023年の総務委員長と連携して随時対応する。大会登録のデジタル化を進め、業務のミスや個人情報の流出を防いだ。領収書をPDFで発行し、省力化、手続きの迅速化を行なった。

広報委員長：秋田佳輝 代読 栗原豊季

【概要】

Twitterの更新が主な業務となった。大会直前の緊急な変更情報、大会情報、競技説明のアナウンス等、掲載した。外部団体からの問い合わせの際、学連委員で情報共有、確認することで正確な情報を提供できるよう努めた。

今年度は、業務を行う際、重要な大会情報をTwitterで発信することで情報が溢れ、学連委員含め、選手が混乱する事態が散見された。そのため、学生連合のHPにチャット機能を設けHPの機能を拡大することで、情報を統制することができ、広報委員長としての業務発展に繋がる可能性があると考えます。

選手強化委員：岡村努吾

【概要】

エリート推薦について。例年通りエリート推薦を行った。今年はエリート大会がコロナの影響もなく行われた一方で、エリート申請の必要要項が2021年度から変更になった事で選手とのやり取りが増えてしまい手間取らせてしまった反省がある。推薦フォーマットの見直しや推薦要項の周知を広報委員長と共に進めていきたい。また、推薦期日から遅れての選手の推薦依頼も多数寄せられたため、学連HPやツイッターを駆使して期日の順守を守るように働きかけたい。加えて、ドラフティング講習会の日程やスプリント選手権の推薦要項の掲示がやや遅れてしまいクレームや日程についての相談が寄せられたことから、告知のタイミングについて詳しく次年度の選手強化委員長に引き継ぎたい。これらの反省を踏まえて次年度の活動に生かしていく。

全日本学生トライアスロン選手権でのドラフティング講習会について。3年ぶりにインカレが香川県観音寺市で開催され、今年度は観音寺市総合運動公園自由広場にて講習会を開催した。講習会自体は問題なく行われたものの、別の用事があり講習に参加できない選手からの問い合わせが多く非常に手間取ってしまった。そのため、インカレの2~3か月前から講習会の告知や各都道府県主催のドラフティング講習会などの代替案の提示などを広報と協力して進めていきたい。

その他 大学生のトライアスリート向けの認定記録会の実施を現在検討している。どこの認定記録会も定員が厳しく、人気のものはすぐに締め切られてしまうため、学生連合でも開催することで大学生にとってより高いレベルの大会への足掛かりとなればと期待している。学生でTO資格を持つ数名、来年度の選手強化委員長と共に開催に向けて準備を進めている。進展があればHPに記載する。

北海道学生連合代表：橋本直樹 代読 栗原豊季

令和4年度の北海道学生トライアスロン連合の活動内容を報告いたします。

【活動報告】

- 6/26 北海道学生トライアスロン選手権
- 9/11 日本学生トライアスロン選手権

今年度は、コロナウイルスによる影響も落ち着きを見せ、道内のトライアスロン大会の多くが久しぶりに開催されました。しかし、部内でクラスターが発生し、部活停止せざるを得ない期間ができてしまったので、遠征時における感染対策を徹底させることの必要性を感じました。

2022年度北海道学生トライアスロン連合 決算報告について。北海道学生トライアスロン連合では、合宿や選手権などの活動費をその都度参加者から調達しておりますので、決算報告はありません。

東北学生連合代：小野史佳

令和4年度の東北学生トライアスロン連合の活動内容を報告いたします。

【活動報告】

- 3月上旬 東北学連春合宿(中止)
- 5月 第1回学連総会(中止)
- 6月26日 東日本学生トライアスロン選手権
- 8月7日 新歓トライアスロン(中止)
- 9月11日 日本学生トライアスロン選手権
- 9月中旬 東北学連夏合宿(中止)
- 12月下旬第2回学連総会(中止)

【概要】

上記の通り、今年度も新型コロナウイルスの影響を受けながらの活動となりました。このような状況のなか、東日本学生トライアスロン選手権、日本学生トライアスロン選手権観音寺大会の開催、その他運営にご尽力いただきましたすべての方々にこの場をお借りして感謝を申し上げます。

関東学生連合代表：秋田佳輝

令和4年度の関東学生トライアスロン連合の活動内容を報告いたします。

【活動報告】

- 6月26日 東日本学生トライアスロン選手権
- 7月10日 西日本学生トライアスロン選手権
- 9月11日 日本学生トライアスロン選手権 観音寺大会
- 10月16日 日本学生スプリント大会

【概要】

東日本トライアスロン選手権では、開会式の開会宣言を行いました。また、大会会場設営、審判業務、撤収作業を行いました。

2023年度は、コロナが徐々に緩和されていることを受け、様々な大会の開催に向け尽力できると考えます。

東海北陸学生連合代表：晴波和也

令和4年度の東海北陸学生トライアスロン連合の活動内容を報告いたします。

【活動報告】

- 7月10日 日西日本学生トライアスロン選手権長良川大会
- 8月上旬 合同練習会→中止
- 9月11日 日本学生トライアスロン選手権観音寺大会

【概要】

2022年度は新型コロナウイルス感染症対策における行動制限の緩和から多くの大会が開催され、西日本インカレも初開催されました。この西日本インカレを成功させるべく愛知県内で開催される大会に学連からボランティアを積極的に派遣し30名ほど、愛知県トライアスロン協会からのご協力を仰ぎました。コロナ第7波の影響により合同練習会は昨年度に引き続き中止となりましたが、このボランティアを通して大学間で交流ができたと思います。また今年度は当学生連合の競技力低下が認められました。インカレ予選が悪天候でデュアスロンとなった影響もありますが、イ

ンカレ本選では半数を超える選手がバイクカットとなりました。この結果を重く受け止め、特にスイム強化を図らなければなりません。
最後に 2022 年度も活動ができたのは他学連の皆様などの多くの方にご協力頂けたおかげです。ご迷惑をおかけすることもあったと思いますが、ご協力ありがとうございました。

近畿学生連合代表：渡邊龍太郎

令和 4 年度の近畿学生トライアスロン連合の活動をご報告いたします。

【活動報告】

- 7月10日 西日本学生トライアスロン選手権大会
- 9月11日 日本学生トライアスロン選手権大会
- 11月20日 JTU認定記録会

【概要】

昨年度まで新型コロナウイルスの感染拡大の影響で西日本学生トライアスロン選手権が開催されませんでした。今年度は開催されました。それに合わせて日本学生トライアスロン選手権に備えて近畿で合同練習会をし、近畿の学生の強化に努めました。コロナ禍の影響で例年行っていた近畿学連での合宿は今年も開催することができませんでしたが、合同練習やインカレ予選の結果について話し合い、より連携を深めて活動することができました。

今年度も近畿2府4県のトライアスロン協会で構成される近畿強化普及委員会の方々と連携し、協調して近畿トライアスロン全体に対する強化、普及についての企画を執り行いました。

中国四国学生連合代表：清宮夏生

令和 4 年度の中国四国学生トライアスロン連合の活動をご報告いたします。

【活動報告】

- 2022年 2 月中旬 早春ロングライド合宿(社会情勢を考慮し中止)
- 7 月 10 日 西日本学生トライアスロン選手権大会
- 9 月 11 日 日本学生トライアスロン選手権大会
- 令和 5 年 3 月 4 日 中四国学生トライアスロン選手権大会

【概要】今年度は新型コロナウイルスの影響を受けながらも大会を開催することができました。大会開催にご尽力いただいた方々にこの場を借りて改めて感謝を申し上げます。また、大会開催にあたり日本学生トライアスロン選手権大会のルールについて九州・近畿地区の方と連携をとり検討することができたことは大きな経験となりました。今後も他地区の学連委員との連携が求められると思います。どの地区のどの役割の方がどの立場から検討したいことがあるのか等を明確にすることによってより活動が円滑になるのではないかと感じました。

※各行事では参加者から費用を調達する形式をとったので、決算報告はありません。

九州沖縄学生連合代表：西山凜希 代読 栗原豊季

令和4年度の九州沖縄学生トライアスロン連合の活動をご報告いたします。

【活動報告】

- 6月九州ブロック選手権大会(天草宝島国際トライアスロン大会)
- 7月 西日本学生トライアスロン選手権大会
- 8月 学連夏合宿
- 9月 日本学生トライアスロン選手権大会
- 12月 認定記録会
- 3月学連春合宿

【概要】

初めに、各大会において、運営に携わった他地区の学生並びに関係者の方々ありがとうございました。今年度も、九州沖縄地区から審判を1人も出せていないといった現状です。学連委員選出の義務化に伴い、来年度からは九州沖縄地区から審判を出して、西日本地区において近畿に次いで規模の大きい地区として協力していきたいと考えています。

昨年7月に行われた西日本インカレでは、強雨でデュアスロンとなり、さらにバイクの距離が短くなりました。インカレ予選として適切であったのかという意見も挙げられました。九州沖縄地区の選手は長良川会場への移動の負担が大きく、不満もありました。西日本インカレ開催は今年度が初めてであったため、来年度以降、西日本地区および学生連合全体で会議を重ね改善を重ねることが必要不可欠だと考えます。

また、九州地区では、コロナ禍により、ここ2年間学連合宿が行われていませんでしたが、8月に合宿を執り行うことができました。コロナ禍により減っていた他大学生との交流を深めることができただけでなく、九州沖縄地区のインカレ出場選手が多く集まり、競技力向上に取り組むことができました。

そして、3年ぶりの観音寺でのインカレで多くの選手が健闘しましたが、全員完走とはなりません。多くの選手がバイクカットという結果になったため、今後スイム力向上に取り組み、完走率を上げていく必要があると考えています。

最後に、来年度の九州ブロック選手権大会と西日本インカレの日程が被っていることについて、今後は日程が被らないために、学連とJTUが連携をとり、各ブロック地区とも相談を重ねていただきたいと思います。

栗原)質問が出されないため、第二号議案を承認します。

7. 2023年度活動計画

2023年度学連委員の選出を行います。今まで主に関東の学生が主体となっていましたが、直接地域の学連が主催することになったため、各地域から委員を輩出することを求めます。

審判資格を取得してから学連委員となる方もいると思いますので、その都度名簿は更新して参ります。ご質問ございませんので、2023年度の学連委員を承認します。

第三号議案 2023年度学生役員及び学生委員の選出

柴田葵が2023年度学生委員長に任命。その他の役員も総会の了承を得て任命された。第三号議案は質疑応答なく、承認された。

第四号議案 2023年度予算案

芦屋事務局員)下表の2023年度収支予算書に基づいて予算を説明。尾道市の補助金、スポンサー様からの収入が増え、学連の予算全体が増額していることなどを説明。

2023年度収支予算書(案)

日本学生トライアスロン連合(JUTU)

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

(単位:円)

科目	2022年度決算額	2023年度予算額	差異	備考
1. 収入の部				
1 事業収入				
国内大会開催収入				
東日本インカレ	10,100,000	11,200,000	1,100,000	
西日本インカレ	4,425,000	13,000,000	8,575,000	尾道市他
観音寺大会	11,601,000	16,000,000	4,399,000	
スプリント大会	6,945,000	8,000,000	1,055,000	
国内強化合宿開催費	0	700,000	700,000	先着35名
国際大会開催・派遣	1,245,000	0	0	
その他事業収入	0	0	0	
2 会費収入				
登録料収入	2,241,000	3,000,000	759,000	
3 寄付金収入				
寄付金・権利金収入	36,863,000	37,000,000	137,000	
4 雑収入				
受取金利息	0	0	0	
未払い金	0	0	0	
その他収入	0	0	0	
当期収入合計(A)	73,420,000	88,900,000	15,480,000	
前期繰越収支差額	7,494,156	6,952,733	△ 541,423	
収入合計(B)	80,914,156	95,852,733	14,938,577	

2023年度収支予算書(案)

日本学生トライアスロン連合(JUTU)

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

(単位:円)

科目	2022年度決算額	2023年度予算額	差異	備考
II 支出の部				
事業費				
国内大会開催費				
東日本インカレ	14,133,418	15,000,000	866,582	
西日本インカレ	13,616,396	21,000,000	7,383,604	新規開催のため
観音寺大会	20,963,784	24,000,000	3,036,216	
スプリント大会	12,031,631	12,000,000	△ 31,631	
国際大会開催・派遣費	3,057,490	800,000	△ 2,257,490	視察費として
国内強化合宿開催費	0	1,000,000	1,000,000	境町合宿のため
選手強化補助費	500,000	500,000	0	
刊行物出版事業費	0	0	0	
その他事業費	0	0	0	
その他の経費				
旅費交通費	3,012,680	4,500,000	1,487,320	
事務費	26,034	100,000	73,966	
印刷製本費	19,574	100,000	80,426	
地代家賃	6,000,000	6,000,000	0	
保険料	50,416	300,000	249,584	
渉外費	0	0	0	
備品	0	0	0	
運賃	0	0	0	
報償費	550,000	550,000	0	
会議費	0	100,000	100,000	
リース料	0	0	0	
支払手数料	0	10,000	10,000	
予備費	0	1,000,000	1,000,000	
雑費	0	0	0	
当期支出合計(C)	73,961,423	86,960,000	12,998,577	
当期収支差額(A)-(C)	△ 541,423	1,940,000	9,434,156	
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,952,733	8,892,733		

質疑応答

九州代表 齋藤光志)

Q.支出予算の部の家賃の600万は、前年度となぜ変わっていないのか。

芦屋事務局員)

A.新しい事務所では年間600万程かかる。数字は同じだが、内容は異なる。

柴田)質疑応答を以上とし、第四号議案を承認します。

第五号議案 2023年度活動計画

大会運営委員長:福田みつき

【活動計画】

- 2023年5月21日(日)第14回日本学生スプリングトライアスロン選手権渡良瀬大会(2023)(渡良瀬 遊水地)
- 6月4日(日)西日本学生トライアスロン選手権尾道因島大会(東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄学生選手権 (広島県尾道市(因島)))
- 6月25日(日)東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会(北海道・東北・関東学生選手権)(栃木県那須塩原市)
- 9月3日(日)日本学生トライアスロン選手権観音寺大会(香川県観音寺市)
- 10月22日(日)日本学生スプリントトライアスロン選手権大会 兼 日本学生トライアスロン チームTT選手権大会(2023)(渡良瀬遊水地)
- 2月下旬 日本学生デュアスロン選手権大会(未定)

それぞれの大会で、ボランティア学生の募集、会場設営・撤去、大会当日の運営を行います。

【概要】

大会運営参加者全員で常に情報を共有し、大会当日までに綿密な準備を徹底して行います。当日は速やかな会場設営・撤去を心掛け、選手の安全を第一に考え、スムーズな大会運営に努めて参ります。

審判委員長:清水瑛大

【活動計画】

- 2023年5月21日(日)第14回日本学生スプリングトライアスロン選手権渡良瀬大会(2023)(渡良瀬 遊水地)
- 6月4日(日)西日本学生トライアスロン選手権尾道因島大会(東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄学生選手権 (広島県尾道市(因島)))
- 6月25日(日)東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会(北海道・東北・関東学生選手権)(栃木県那須塩原市)
- 9月3日(日)日本学生トライアスロン選手権観音寺大会(香川県観音寺市)
- 10月22日(日)日本学生スプリントトライアスロン選手権大会 兼 日本学生トライアスロン チームTT選手権大会(2023)(渡良瀬遊水地)
- 2月下旬 日本学生デュアスロン選手権大会(未定)

【概要】

JTU 審判資格認定講習会の受講

本年も2月を中心にJTU 審判資格認定講習会が開催され、多くの学生が積極的に受講しました。各大会においては、講習会の内容を踏まえた上で、他の委員会と連携し、また開催地の地域学連や地域協会の方々にご協力をいただきながら、安全かつ公正なレースが展開できるよう審判業務を全うします。

また、主要大会における審判委員会活動のほか、要請がありましたら、日本トライアスロン選手権など、JTU 開催の大会にも審判委員を派遣させていただきます。

総務委員長:山口太誠

【概要】

1. JTU 登録承認

学生の JTU 登録承認作業を行う。学生以外の誤った承認や登録年度の正誤を確認しながら、注意深く業務を行なっていく。また、大会前に登録が集中することも予測されます。HP や各チームに対する呼びかけを通じて、余裕を持った登録をするよう呼びかけます。

2. 各大会選手リスト作成

以下の大会で選手のリストを作成します。

- 第 14 回日本学生スプリングトライアスロン選手権渡良瀬大会 (2023) (渡良瀬遊水地)
- 6 月 4 日(日)西日本学生トライアスロン選手権尾道因島大会(東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄学生選手権 (広島県尾道市(因島))
- 6 月 25 日(日)東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会(北海道・東北・関東学生選手権) (栃木県那須塩原市)
- 9 月 3 日 (日) 日本学生トライアスロン選手権観音寺大会 (香川県観音寺市)
- 10月 22 日(日)日本学生スプリントトライアスロン選手権大会 兼 日本学生トライアスロン チームTT選手権大会 (2023) (渡良瀬遊水地)

3. 上記 5 大会における、選手リストの作成を行う。大会前日にはトラバックの作成を行い、当日には受付業務と本部窓口を担当します。

4. 領収書対応 要望があり次第、領収書を作成し、適切な方法で送付します。

広報委員長:竹之内駿希

【概要】

1. HP の管理、Twitter の更新

HP には各大会のエントリー開始・注意事項・スタートリスト・リザルトを掲載します。大会直前等の緊急な変更情報は Twitter アカウントにて掲載します。情報の錯乱を防止するために掲載事項は可能であればソース元が我々であることを示します。(電子等)特にレース直前は天候等による変更が大いにあり得る情報を掲載できるように学生委員長の柴田、大会運営委員長である福田と連携します。また、Twitter のアカウントの通知をオンにしてもらえるよう大会直前は bot 機能を用いて定期的にその旨のツイートをします。

2. 【活動計画】

- 2023 年5 月 21 日(日)第 14 回日本学生スプリングトライアスロン選手権渡良瀬大会 (2023) (渡良瀬 遊水地)
- 6 月 4 日(日)西日本学生トライアスロン選手権尾道因島大会(東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄学生選手権 (広島県尾道市(因島))
- 6 月 25 日(日)東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会(北海道・東北・関東学生選手権) (栃木県那須塩原市)
- 9 月 3 日 (日) 日本学生トライアスロン選手権観音寺大会 (香川県観音寺市)

- 10月22日(日)日本学生スプリントトライアスロン選手権大会 兼 日本学生トライアスロン チームTT選手権大会 (2023) (渡良瀬遊水地)
- 2月下旬 日本学生デュアスロン選手権大会 (未定)

3. 業務内容と詳細

メディアカードの配布によるメディア規制が主な業務です。昨年度に引き続き、配布したメディアカードの回収を確実にするために担当スタッフに分かりやすい形式で(カード貸出表など 記録媒体を用意する)記録してもら必要があります。メディアカードを持たない非正規の撮影者への取り締まりや注意喚起を行い盗撮や選手への妨害を抑制します。撮影に関するルールなどのこれらの情報は大会当日までにPDFにして Twitter 等に配布する方針です。

4. その他

学生トライアスロンの普及のために多くのメディアがレースを撮影すること、撮影者のアップした写真を Twitter で紹介するなど、より積極的に活動を行っていく。

選手強化委員長：守谷汐颯

【概要】

1. エリート登録制度

日本学生トライアスロン連合 2023 年度選手強化委員長 守谷汐颯

2023 年度選手強化委員会 活動計画

JTU の制度変更に伴って、今年度より加盟団体推薦制度が廃止となった。以下の大会の出場 希望者に対してエリート登録制度を開始する。

- アジアトライアスロンカップ(2023/大阪城)
- 日本トライアスロン選手権(2023/東京・台場)
- 日本スプリントトライアスロン選手権(2023/仙台)
- 日本スーパースプリントトライアスロン選手権
- 日本 U23 トライアスロン選手権(2023/東京・台場)
- 日本 U19 トライアスロン選手権(2023/長良川)
- 日本 U23 スプリントトライアスロン選手権(2023/長良川) 日本デュアスロン選手権(2023/寒河江)
- 日本アクアスロン選手権(2023/東京・海の森)
- SAGA2024 国民スポーツ大会リハーサル大会/全国高等学校トライアスロン選手権(2023/唐津) SAGA2024 国民スポーツ大会リハーサル大会/波戸岬トライアスロン大会 in 唐津

各大会への出場基準は別途定めます。本登録があっても各大会の出場基準を満たしていない場合は出場不可になります。ロングディスタンス、パラトライアスロンについては、大会の出場基準によります。昨年引き続き新型コロナウイルスの影響により開催未定のエリートレースが複数あるため、今後の動向に注視します。エリート登録は選手自身が行い、各加盟団体は所属選手が登録を行ったことを承認・把握します。

エリート登録の手順について

- 1)選手が指定フォームよりエリート登録を行う。
- 2)各加盟団体担当者宛に登録通知が自動で配信される。(全加盟団体担当者に一斉送信される)
- 3)各加盟団体担当者は、スプレッドシート内で所属選手の登録内容を確認し、確認チェックと 確認者氏名の記入を行う。

2.全日本学生トライアスロン選手権でのドラフティング講習会
例年通り行う予定です。

3.認定記録会

開催に向けて、時期・場所の検討中です。

北海道学生連合代表:小西冬馬

令和5年度の北海道学生トライアスロン連合の活動計画をご報告いたします。

【活動計画】

- 6月25日(日)東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会(北海道・東北・関東学生選手権)(栃木県那須塩原市)
- 9月3日(日)日本学生トライアスロン選手権観音寺大会(香川県観音寺市)

【概要】

昨年度は、コロナウイルスによる影響も落ち着きを見せ、道内のトライアスロン大会の多くが久しぶりに開催されました。とはいえ、まだ完全に終息したわけではないので、引き続き警戒しつつ昨年以上に精力的に活動していきたいと思っております。

また、2023年度の北海道トライアスロン選手権大会は、2019年度まで使用させていただいていた苫小牧での大会が昨年度、3年ぶりに開催されたため、可能であれば道内で選手権を開催したいと考えており、北海道トライアスロン連合、学連とも協議を進めながら調整していきたいと思っております。

【予算案】

北海道学生トライアスロン連合では、合宿や選手権などの活動費をその都度参加者から調達しておりますので、予算案はございません。

東北学生連合代表:小野史佳

令和5年度の東北学生トライアスロン連合の活動計画をご報告いたします。

【活動計画】

- 3月下旬 東北学連春合宿
- 6月上旬 新歓トライアスロン
- 6月25日東日本学生トライアスロン選手権
- 9月3日日本学生トライアスロン選手権
- 9月下旬 東北学連夏合宿

【概要】

新型コロナウイルスによる規制も緩和されつつあり、活動の幅を広めることができそうなので、合宿で他大学とも交流できる機会を作りたいと考えております。また、大会の運営にも積極的に携わってまいります。本年度もよろしくお願いいたします。

関東学生連合代表:山口陽誠

令和 5年度の関東学生トライアスロン連合の活動計画をご報告いたします。

【概要】

昨年の大会は、新型コロナウイルス拡大による規制が一昨年と比べると緩和され、多くの大会が、感染対策を行いつつ開催されました。各大会で開会式や閉会式が執り行われたり、日本学生トライアスロン選手権大会が3年ぶりに観音寺市での開催となるなど、慣れない作業も多くありました。引き続き、他地域学連と連携を取り、限られた人員で高い意識を持って大会運営にあたって参ります。

東海北陸学生連合代表:恒川昌広

令和 5年度の東海北陸学生トライアスロン連合の活動計画をご報告いたします。

【活動計画】

- 6月 西日本学生トライアスロン選手権尾道因島大会
- 8月 東海北陸合同練習会
- 9月 日本学生トライアスロン選手権観音寺大会

【概要】

2023年度の東海北陸地方の目標は、インカレ本戦での出場選手全員の完走とします。確実なトレーニングを通じて、選手全員が最高のパフォーマンスを発揮することを目指していきます。そのためには各大学での日々のトレーニングは勿論のこと、大学間での交流も必要であると思えます。

昨年度は、合同練習会を予定していたものの、新型コロナウイルスの影響で行うことができませんでした。現在、新型コロナウイルスとの付き合い方が分かってきて、社会でも徐々に規制が緩和されてきています。夏にどのような状況になっているか分かりませんが、社会情勢を鑑みて、落ち着いていそうならば、合同練習会を行いたいと考えています。

また、部員が減少し、新入部員の獲得に苦勞している大学もあります。トライアスロンに対する熱意と情熱を高めることで、新しい部員を獲得し、トライアスロン部のコミュニティを拡大していくことも目指していきます。

近畿学生連合代表:櫻木敦大

令和 5年度の近畿学生トライアスロン連合の活動計画をご報告いたします。

【活動計画】

- 2月 18-20日 近畿学生合宿
- 3月 12日 認定記録会
- 4月 16日 認定記録会
- 6月 4日 西日本学生トライアスロン選手権大会
- 9月 3日 日本学生トライアスロン選手権大会

【概要】

近畿学生合宿(18日夜に審判講習会を開催) 認定記録会 in 立命館琵琶湖草津キャンパス(予定) 認定記録会 in 立命館琵琶湖草津キャンパス(予定)

西日本学生トライアスロン選手権大会

日本学生トライアスロン選手権大会

昨年は一昨年に続き、学連合宿などを含めたお互いの大学と交流する機会の多くが中止となりました。しかし、今年は3年ぶりの合同練習を開催することができます。近畿の学生同士がお互いに意識し、また交流を深め近畿学生の団結力を高めて

いきたいと考えています。今年からは多くの大会が参加できるようになると予想されます。今まで以上に大学同士での情報共有を大切に、交流を積極的に行いながら学生が全力でトライアスロンをできる環境を作っていきます。また近畿ブロック強化普及委員会の方々とも昨年度と同様に、より一層連携を深めていき近畿トライアスロン全体の強化に努めていきます。よろしくお願いいたします。

中国四国学生連合代表:岡田俊介

令和5年度の中国四国学生トライアスロン連合の活動計画をご報告いたします。

【活動計画】

- 2月 早春ロングライド合宿
- 6月 西日本学生トライアスロン選手権
- 8月 中国四国合同強化練習期間(案)
- 9月 日本学生トライアスロン選手権

【概要】

2023年度の西日本学生トライアスロン選手権は中四国地区の広島県・尾道市で開催されるということで、競技のみでなく、大会準備・運営にも尽力いたします。よろしくお願いいたします。2023年度の中国四国地方の目標は、出場選手全員の完走、そして個人としてチームとして前年度以上の順位を目指すことです。課題であるスイム力向上に重きを置き、バイク・ランも合わせて全員がレベルアップできるように取り組んでいきます。また、2022年度はインカレ予選・本選において中四国地区からの女子選手の参加無しという結果に終わってしまいました。ここ数年の課題ではありますが、各チームで協力し合い、女子選手育成にも尽力していきたいと思っております。

また、2022年2月には3年ぶりに早春ロングライド合宿を開催することができました。新型コロナウイルス感染症の影響は未だありますが、各行事や大会を充実したものにしていけるように尽力していきます。

*予算はないため、予算案はありません。

九州沖縄学生連合代表: 齊藤光志

令和5年度の九州沖縄学生トライアスロン連合の活動計画をご報告いたします。

【活動計画】

- 6月九州ブロック選手権大会(天草宝島国際トライアスロン大会)
- 西日本学生トライアスロン選手権尾道因島大会
- 東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会(代替予選)
- 8月学連夏合宿
- 9月日本学生トライアスロン選手権観音寺大会
- 12月福岡認定記録会
- 2月佐賀認定記録会
- 3月学連春合宿

【概要】

2022年度同様、学連合宿を春と夏に実施し、九州沖縄地区の学生の交流を深めることはもち

ろん、九州沖縄地区内だけでなく、他地区との交流も図っていきたくて考えています。競技面では、九州ブロックのインカレ選手枠が近年多いため、完走率を向上さ

せて枠数を維持していきたいです。西日本インカレが尾道因島で初めての開催となるため、九州沖縄地区からも審判を出して、大会の成功に向けて尽力していきたいと考えています。

西日本インカレの開催について、西日本地区の学生連合に相談または通知なく開催場所および日程が決定されたことは、日本選手権や国体出場を狙う選手にとって大きな負担であり、今回の決定過程の明確化を求めます。

最後に、個人的な意見ですが、学連委員選出により、九州沖縄地区として他地区との関わりが増えてくると思います。慣れないことが多くご迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願いします

【質疑応答】

齋藤光志)

Q.西日本学生トライアスロン選手権大会の詳細を教えてください。なぜ、尾道因島でレースが行われるのか、時期や開催場所の詳細についても教えてください。欲しいです。また、このその経緯や議論を文書で残すことを求めます。

林副理事長)

A.3月8日に尾道市で実行委員会があり、そこで最終決定されるため、その決定及び発表を待っていただきたい。

鈴木事務局長)

A.西日本学生選手権を尾道市で開催することになった経緯について、まず大会運営には開催自治体ならびに地元企業、住民の理解が欠かせないことがあります。長良川で開催した際に、岐阜県協会の協力はありましたが自治体からの協力はなく、学連だけで予算を捻出する必要があったため、運営自体とても厳しかった。今回、福嶋理事長の縁から、スポンサーとして協力いただける企業様と尾道市からも補助金と運営支援をいただけるなど、地元の理解が得られたことから尾道市で大会を開催する運びとなりました。

齋藤光志)

Q.広報委員会の活動でのHPの整理というものがあったが、総会の決算や規約、組織図などがHPに掲載されていないのではないか？

鈴木事務局長)

A.そのような資料はサイトマップから閲覧できますが、資料がバラバラになっており、見つけにくい事は従来指摘されています。年度の途中で変更することはできませんので、時期を決め2023年度内にHP内を整理し、各地域の情報やスポンサー情報など、新しい情報に置き換えます。

柴田)質疑応答を以上とし、第五号議案を承認します。

第六号議案 2023年度レースカレンダー

鈴木事務局長)来年度の大会運営日程の確認。以下の日程表にしたがって説明。

2023 日本学生トライアスロン連会公式大会日程 令和5年1月25日現在

月	日	大会名	共催大会名	開催地	募集開始日	募集終了日	URL
5	21	日本学生スプリントトライアスロン選手権大会	遊水地ふれあいトライアスロン大会	渡良津遊水地	2月1日	4月30日	
6	4	西日本学生トライアスロン選手権尾道大会 兼 北海道・近畿・中国四国・九州沖縄学生トライアスロン選手権尾道大会		広島県尾道市(因島)	4月14日	5月19日	https://www.jmba.com/
6	25	東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会 兼 関東・東北・北海道学生トライアスロン選手権那須塩原大会		栃木県那須塩原市	5月8日	6月9日	https://www.jmba.com/
9	3	日本学生トライアスロン選手権観音寺大会		香川県観音寺市	7月7日	8月18日	https://www.jmba.com/
10	15	日本トライアスロン選手権大会		東京都港区台場			http://www.itccc.jp/national_champoonbee/
10	22	日本学生スプリントトライアスロン選手権大会 兼日本学生トライアスロンチームTT選手権大会		渡良津遊水地	9月15日	10月6日	https://www.jmba.com/
2	下旬	日本学生デュアスロン選手権	CallMan Japan Dunblon Grand Prix	未定	1月下旬	2月中旬	http://www.callman.co/

カーフマン(ネオシステム)の撤退により、後継の大会を実施するのか検討中です。後継が見つからない場合は大会が実施されない可能性もあります。

栗原)2点補足をします。1点目は、西日本の日程の質問についてです。大前提として、理事、事務局の皆さまは休日を返上して学生連合に協力していただいております、関係各所と連絡調整を重ね、学生にとってベストな日程を組んでいるため、日程の不都合などについては理解を求めたいと思います。

2点目は地域学連代表を飛び越えて、各大学から個別に問い合わせることを極力無くしてほしいということについてです。マンパワー等を踏まえ、各地域の代表が意見を集約してから学連事務局に問い合わせをするようお願いいたします。学生同士であるのであるから、学生委員長を皆さんで支えてあげられたらと思う

質疑応答を以上とし、第六号議案を承認する。

8. 協議事項

第七号議案 2023年度日本大学トライアスロン選抜大会 招待枠について

1. 出場枠数

以下の順位に該当する大学が2023年度全日本大学トライアスロン選抜大会の招待枠を獲得する。

■男子・・・7校

①2022年度日本学生トライアスロン選手権 団体上位3校

②2022年度日本学生スプリント・チームタイムトライアル 団体上位2校

③2022年度日本学生デュアスロン選手権 団体上位2校

■女子・・・3校

- ①2022 年度 日本学生トライアスロン選手権 団体上位 3 校
- ②2022 年度 日本学生スプリント・チームタイムトライアル団体上位 1 校
- ③2022 年度 日本学生デュアスロン選手権 団体上位 1 校

※ロールダウンは①>②>③の順で発生する。

2. 招待枠獲得校: 男子

①

- 1 位 早稲田大学
- 2位 日本体育大学
- 3位 立命館大学
- 4 位 東北大学 注 1
- 5 位 日本大学 注 1
- 6 位 広島大学 注 1

②

- 1 位 日本体育大学
- 2 位 日本大学

③

- 1 位 日本体育大学
- 2 位 東海大学

注1：大学重複によるロールダウン発生

今後、招待枠辞退などによってロールダウンが発生する可能性が高い大学は、順に、九州大学、同志社大学、慶應義塾大学、明治大学、神奈川大学、近畿大学、筑波大学である。

3.招待枠獲得校：女子

①

- 1位 日本体育大学
- 2位 同志社大学
- 3位 東海大学
- 4位 流通経済大 注1

②

- 1位 日本体育大学

③

- 1位 順天堂大学

注1：大学重複によるロールダウン発生

今後、招待枠辞退などによってロールダウンが発生する可能性が高い大学は、順に、筑波大学、立命館大学、東北大学、関西大学である。

柴田)質問が出ないため、第七号議案を承認します。

第八号議案 2023年度日本学生トライアスロン選手権 出場資格について

以下の3通りの方法によって2023年度日本学生トライアスロン選手権出場資格を得ることができる。

- 1.地域予選からの出場
- 2.シード権を使っての出場
- 3.代替予選からの出場

1.1地域予選からの出場

地域学生トライアスロン選手権において、通過枠内の順位に入ることによって出場資格を獲得できます。

※ロールダウンは各予選地域内で行います。例)東北ブロック予選においてインカレ出場権を獲得した選手が出場辞退した場合は、東北ブロック内でロールダウンが発生します。

1.2 通過枠計算方法

今年度はインカレの枠数を男子140人、女子50人で計算を行います。

A方式

1. それぞれの地域の登録者数を全国の登録者数に対して割合を出す。
2. それぞれの地域の割合に女子は22.5、男子は63をかける。なおここでの四捨五入は行わない。

B方式

1. インカレの結果を利用して総合順位最下位が1点となり順位が一つ上がるたびに1点高くなるように点数をつけていく。DNF・DNS・DSQは0点とします。
2. ここで、Aシードと代替出場者にはポイントを与えず、ポイントを飛ばすことにします。
3. 各地域のそれぞれの選手の点数を足し合わせていき総合点数を求めます。
4. ドント方式の計算式を利用して各地域の枠数を求める。このとき女子は50、男子は140の枠で計算し、後に2で割ったものを用います。

A方式+B方式

1. A方式とB方式で得た値を足し合わせ、小数点以下を切り上げます。
2. 枠数の合計が男女の決まった枠数に満たない場合は、小数点第一位が大きい順で1枠ずつ増やし、枠を調整します。

・枠数について

例年インカレの男子では A シード選手を加え 150 人を超え、大人数によるドラフティングレースとなり危険です。今年度は男子のインカレ出場者数を 150 人から大幅に超えないようにするために、予想される A シードのおおよその数を引いた 140 人で計算を行いました。ただし女子についてはそのままの人数で計算を行いました。男子において A シード申請者数が 10 人を下回った場合、インカレ枠を「150-(Aシード選手数)」として再度計算を行い、最終的な地域枠数を出すこととします。そのため 140 の枠数は暫定版となる。シード申請の締め切りをもって最終的な枠数を公表します。

A 方式における係数について

2020 年度までは男子を 150 人、女子を 50 人として計算を行っていたが、2021 年度以降、男子 140 人、女子 50 人で計算します。そこで、2021 年度より枠数計算における A 方式と B 方式の比率を男女で 0.9:1 に統一し、A 方式で用いる係数を男子は 63(2020 度は 70.6)、女子は 22.5 (2020 度は 20.6)にしました。これにより A 方式 +B 方式の計算の際には小数点以下を切り上げたのちに枠数を調整することができます。

2.シード権を使つての出場

● Aシード

- 2022 年度日本学生トリアスロン選手権男女各上位 6 名
- ナショナル A
- ナショナル B
- ナショナル次世代
- ナショナル候補
- タレント選抜(JTU 認定記録会 10 級以上)

【A シード申請フォーマット】

宛先 jutu19info@gmail.com

件名: インカレ A シード申請/氏名 記載事項:名前、所属大学、所属地域、学年、性別、連絡先、A シード内容(前年度入賞 or JTU ナショナル A/B/次世代/候補 or JTU タレント選抜・獲得級・認定記録会年月日&会場)、本年度 JTU 会員番号 (U から始まるもの)

以上全てを記載し、メールをお送りください。

B シード

- タレント認定(JTU 認定記録会 13 級以上)

【B シード申請手続きフォーマット】

宛先 jutu19info@gmail.com

件名 インカレ B シード申請/名前

記載事項: 名前、所属大学、所属地域、学年、性別、連絡先、B シード内容(JTU タレント選抜・獲得級・認定記録会年月日&会場)、本年度 JTU 会員番号 (U から始まるもの)

以上全てを記載し、メールをお送りください。

注意事項

- シード申請は必ずインカレエントリーを始める前に学連のメールアドレスへ申請すること。

- JTUナショナル(A・B・次世代・候補)、JTUタレント(選抜・認定)は、申請時に該当していることを条件とする。
- 今年度、シードの申請締め切りは5月21日とする。(厳守)
- 申請をしなかった場合はインカレに出場することはできない。申請をせずに地域予選に出場し通過した場合、インカレに出場することができる。

申請をして地域予選に出場した場合、予選通過ラインを越えていなくてもインカレに出場できます。

Bシードは地域予選通過枠を含む

Bシード利用者の所属地域から、地域予選通過枠を削減する。例)関東ブロック地域予選枠 80、関東所属のBシード利用者 10の場合、関東学生トライアスロン選手権で70位(シード権獲得者除く)までの選手がインカレ出場権を獲得します。

申請締切後にシード利用者のリストを公開します。

地域予選通過枠以上のBシード申請者数であった場合、地域予選通過枠は1とします。

■ Bシード申請者がインカレ出場を辞退する場合のロールダウンは認めません。

3.代替予選からの出場

対象選手

- 最終学年の大学生および短大生や大学院生 公務員試験や大学院試験、年に一度のみの国家試験により、やむを得ず所属地域の予選に出場できない場合。
- 各地方予選当日に大会運営に関わる者 日本学生トライアスロン連合の大会運営委員長の承認が必要。所属地域の大会運営に関わらなかった場合は出場資格の剥奪を行います。
- 国体予選とインカレ地域予選の日がちが重なった選手 国体予選に出場しなかった選手およびDNSとなった選手は出場資格の剥奪を行う。
- その他、特別に出場を認める選手 ※不正などの厳罰に対処するために、上記の方法以外の採用は行いません。

■ 原則

東日本インカレの代替予選は、西日本インカレとする。西日本インカレの代替予選は、東日本インカレとする。申請締め切りは、代替希望大会の申し込み締め切り2週間前までとする。

(東日本インカレ 6月11日/西日本インカレ 5月21日) 代替予選はインカレの地域枠数を使用しない

■ 手続き

1. 以下の形式で、日本学生トライアスロン連合(jutu19info@gmail.com)に申請をする。

件名:代替予選申請/氏名 本文:名前、所属大学、所属地域、学年、性別、住所、連絡先、申請理由、代替希望大会名、本年度 JTU 会員番号 (U から始まるもの)

学連が代替予選を利用するのが適当だと認めた場合は、承諾の旨を記載した返信を送る。

2. 申請が許可された選手は日本学生トライアスロン連合のホームページより、代替予選大会のエントリーを期日までに行う。

■ 通過条件

・ 参加代替大会の予選最終通過者のタイムを基準とする。また、2つ以上の地域予選が併

催されている場合、通過ボーダーは高い方を基準とする。ただし、代替大会で、代替予選利用選手の所属地域が設けている予選通過枠を超える代替予選利用選手の予選通過者は認めない。

例)今年度開催予定の関東学生トライアスロン選手権(女子)に東海地方から4名代替予選利用者が参加した場合、まず、関東選手権の予選通過者のうち、通過タイムが一番遅い選手がボーダーとなる。しかし、代替予選利用者全員がそのボーダーをクリアした場合は、東海地方の枠数を基準とし、確定する。

補足

栗原)JTU強化指定選手の仕組みが変更になったため、JTUのハイパフォーマンスチームに協力を仰ぎ、名称の整理を行った。
タレント選抜をA制度に変更

Bシードタレント認定

JTU認定記録会13級以上は、スイムもランも
認定記録会13級以上が取得できていればBシード

【質疑応答】

小西冬馬)

Q.番最初のB方式(ドント式)について、北海道学連の1人が出場しているが、0になっているのはなぜですか。計算の過程などあれば教えて欲しいです。

栗原)

A.ドント式では、インカレ出場者を整数で除してポイントを与えていきますので、ドント式の結果、北海道の出場枠数が0になっています。要望があれば、Excelのシートを提示することもできます。

柴田)質問がないため、第八号議案を承認します。

第九号議案 2022年FISU世界大学トライアスロン選手権大会出場者のインカレシード権

栗原)2022年は、FISU世界大学トライアスロン選手権大会(以下FISU)と日本学生トライアスロン選手権観音寺大会(以下インカレ)の開催日が重なっており、FISU出場者はインカレに出場することができませんでした。

ここで、両大会の選考基準、出場選手の実績、各地域予選からの出場枠を圧迫しないことを考慮して、2023年度のインカレAシード権を特例で付与することといたします。対象者を読み上げます。

2022年世界大学トライアスロン選手権大会 出場者実績(2023年度在学者)

小林祐也 2021 インカレ第3位

徳山哲平 JTU ナショナル次世代(2023 第1期)

武田結 2021 インカレ優勝

佐藤姫夏 2021 インカレ第3位, JTU ナショナル次世代(2023 第1期)

9. 閉会宣言

宇佐美会長)

単独競技であるにもかかわらず、多くの役員、選手が集団のために活動しています。ここには大変素晴らしいチャンスが広がっていると感じます。今後も素晴らしい大会運営、合宿運営をよろしくお願いいたします。コロナの情勢をみながら、2023年度もどうぞよろしくお願いいたします。

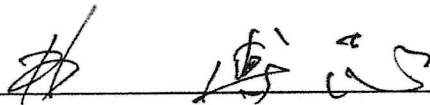
柴田)これより2022年度日本学生トライアスロン連合拡大理事会兼学生委員会総会を終了します。

議事録に間違いがなかったことを認め、署名のうえ捺印します。

令和 5 年 3 月 10 日

議事録署名人

日本学生トライアスロン連合副理事長





日本学生トライアスロン連合2023学生委員長

